

安心・安全でおいしい佐渡米の実現へ

生きものを育む農法に取り組む農家はもちろんのこと、「佐渡 kids 生きもの調査隊」を設立し、小学生の子どもたちも佐渡の田んぼの生物調査を実施します。

佐渡の豊かな環境がわかる「佐渡生きものマップ」を作るとともに、佐渡の未来を担う子どもたちの環境学習の場としても進めていきます。子どもたちが取り組むことによって、島民が一体となつて進むことを期待しています。

そして、生きものを育む農法から高品質な佐渡米の生産ができるよう、フォーラムや研修会を予定しています。7月に生きもの調査講師養成講座の実施を計画しています。

この「朱鷺と暮らす郷づくり認証制



行谷小学校の発表

生きものを育む農法推進フォーラム 6月22日 トキのむら元気館

生きものを育む農法を知ってもらい、環境にやさしい農業への転換を進めようと「生きものを育む農法推進フォーラム」が開催されました。

生きもの調査や水田経営に関する講演のほか、行谷小学校児童による田の観察や生きもの調べなどの活動報告も行なわれました。

午後からは新穂長畝の田んぼで生きもの調査を実施しました。参加者は田や水路などで、ザリガニやメダカ、ヤマアカガエルなど多くの生きものを発見していました。

また、この日に「朱鷺と暮らす郷づくり推進協議会」が設立されました。



「朱鷺と暮らす郷」米袋

度」は佐渡の豊かな環境を創造し、トキの舞う島が生んだ日本一安全・安心でおいしい佐渡米の実現をめざすものです。また、消費者の皆さまにトキの野生復帰への応援団になつてもらいたいという願いも込めています。

J A、野生復帰に取り組む団体、生産者、行政が一体となつて取り組んでまいります。

田んぼに住んでいる生きものを調べよう！ 佐渡Kids生きもの調査隊

子ども環境学習会と合同で
第1回目の生きもの調査を行いました。

「佐渡 kids 生きもの調査隊」は、市内小学校4～6年生が対象で、田んぼやビオトープにどんな生きものがあるのかを調べたり、生きものマップを作ったりします。

6月29日、あいにくの雨模様でしたが、新穂、羽茂、相川の各地区で生きもの調査を実施しました。

オタマジヤクシやドジョウ、ミズカマキリやクロサンショウウオなど、調査で見つかった生きものを隊員たちは熱心に観察し、小さな生きものたちが暮らす環境や、トキと田んぼに住む小さな生きものたちの命の繋がりを学びました。

「佐渡 Kids 生きもの調査隊」に参加したい！という方、いつでも大歓迎です。詳しくはお問い合わせください。

お問い合わせ

市役所 農業振興課

☎ 63・5117

佐渡Kids生きもの調査隊

……今後の予定……

- ・7月27日(日) コウノトリの野生復帰を成功させた兵庫県豊岡市の子どもたちと佐渡の子どもたちが一緒に生きもの調査を行います。
- ・秋には稲刈り後の水田で、生きもの調査を計画しています。